

■ 蛟龍横 はる

アシヤ現代映画  
原作 脚色 並監督者  
志波 西果氏  
撮影者 唐澤 弘光氏

—— 主要 役割 ——

山根 岩松 松本 泰輔氏  
妻 お政 澤 蘭子嬢  
愛兒 鶴子 杉村 智恵子嬢  
清田 春輔 高堂 國典氏  
水牛の吉十 濱田 格氏  
工大 源吉 小島 洋々氏

解説——「大自然の叫び」について志波西果氏が製作した現代劇である。

略筋——山根岩松は七年の苦役を終へ愛妻愛兒のこゝろを思ふく飛び立つ思ひで我家へ歸つた。しかるに愛兒は溺死し妻は發狂して居るのみ發見した彼は唯だ人の世の無情を泣いた。泣いて岩松は故郷を後にして都の病院に妻を入れ、自らの職を求め歩いた。然し前科者の彼には就職は餘りに困難であつた。かくて世の壓迫に耐へかれて世を呪つた折、ふと彼の頭に閃めいた清田巡査の言葉、それは正直、正直であつた。

彼は途中でカバンを拾つた。中には不正な大金が在つた。夢中でそれを持って病院に駆けつけた時彼は自分が何をしてゐるかを省みて戸外に飛び出した。そして靴は刑事の手に渡された。やがて正しき者の岩松に恵まれた日は來た。